



環境  
自然



施設

57  
まいん

# べっしどうざんきねんかん 別子銅山記念館



サツキが咲き誇る別子銅山記念館

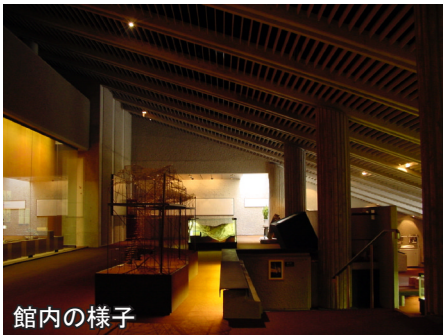
サツキ一萬本のもと  
今も息づく別子三百年の宝

べっしどうざんきねんかん  
別子銅山記念館は、日本経済の近代化に大きく貢献した別子銅山の意義を永く後世に伝えるため、住友グループ21社の協力によって、昭和50年(1975)6月13日に開館しました。

館内には、別子銅山の歴史をたどる開坑以来の歴史資料や、生活風俗、技術等に関する史料が数多く展示されています。



別子銅山最後の大鉋



館内の様子

また、坑道を思わせる半地下構造となっていることから、落ち着いた雰囲気の中、別子銅山300年の歴史をじっくりと堪能することができます。

記念館屋根には別子銅山が開坑された5月にちなみ、サツキが10,000本植えられ、市内随一のサツキの名所として親しまれています。

屋外には、別子銅山鉄道上部線で、明治26年(1893)日本初の山岳鉱山専用鉄道として走った「別子第1号機関車」の実物なども保存展示されています。

平成17年(2005)2月、バリアフリー工事も行われ、より一層誰もが利用しやすくなりました。

開館時間 午前9:00～午後4:00  
休館日 毎週月曜日、国民の祝日(祝日が日曜と重なる場合は開館)  
年末・年始 (12月29日～1月3日)・10月17日  
住所 〒792-0846 愛媛県新居浜市角野新田町3丁目13番  
入場料 無料  
電話 TEL 0897-41-2200 FAX 0897-41-9459



坑内で使用した履物  
(足中)

坑夫の作業着(鋪着)

ふれあいめぐりあい

## 宝石箱の守人

さとう ゆたか  
佐藤 豊

さんは、別子銅山記念館5代目の館長さんです。

記念館の展示物は、一つ一つが宝石のように輝いています。その宝を守り、また、多くの方々に開放し、学習の場を提供して下さっています。  
平成17年6月 御退館

これな～んだ?

これは、記念館の天井に空けられている穴です。  
何のために空けられているのでしょうか?

答えは、裏にあります。



さとう ゆたか  
佐藤 豊さん